

社会 小学校第3学年 工場ではたらく人々の仕事

個別学習での活用

書き込み

外部出力

工場のひみつを探ろうというテーマを設定した。

工場が安心・安全のために、衛生面でどのような工夫をしているかについて、市の独自教材と平行してデジタル教科書を使用した。授業では、工場で働く人々の服装の写真を囲んだり、本文に下線を引いたり、付箋を貼り付けて気になったことや発見をメモする児童も見られた。

参考になりそうな児童については、タブレットをテレビに映すことで共有した。

交流の段階では、自分がチェックしたデジタル教科書を相手に見せて交流する姿が見られた。デジタル教科書は、教科書に実際に書き込む時と比べて、修正が可能である点、好きな場所に付箋を貼り付けたりできる点、などが優れていると感じた。



工場のひみつを探す児童

社会（地図） 小学校第5学年 日本の国土と人々の暮らし

地図帳での活用

拡大縮小

ドリル問題

外部ソフト連携

授業の最初5分間で、地図帳に掲載されている「地図マスターへの道」に取り組んでいる。

小学校3年生から6年生までの全80問に取り組む、地図記号や土地利用図、方位など地図帳を読み取るための基礎的な力を高めている。

児童は、各ページのレベル1～3に分かれた問題の中から、自分が選択した問題に取り組んでいる。

ここでは、デジタル教科書の特徴を生かして、拡大、縮小したり、スクロールしたり、目次から素早く索引や凡例のページへと移って確認したりして解答している。

さらに、解答は google classroom で配布した解答用紙に入力し、全問正解できた児童には、地図マスターとして他の児童に向けての問題作成にも挑戦している。



「地図マスターへの道」を行っている様子

## 社会 小学校第5学年 工業生産とわたしたちの暮らし

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

書き込み

日本の基幹産業である工業の種類、盛んな地域の分布、自動車産業の概要について、地図資料やグラフを拡大することにより詳しく調べさせることができる。

「くらしや産業を支える工業生産」の教材では、工業の盛んな地域を示した日本地図を拡大することで工業地帯・工業地域の分布や太平洋ベルトに多く集まっている様子を視覚的にとらえやすくすることができる。

また、資料を見て気づいたことを直接手書きする、丸印をつける、線を引く、スタンプを押す、付箋に文字を打つなどの書き込み機能を活用することで、読み取った内容を整理し、自分の気づいたことやそこから考えたことを他の児童に見せながら分かりやすく説明し、意見交流ができる。



資料を拡大し、気づいたことを書き込み機能を活用する児童

## 社会 小学校第6学年 憲法と政治のしくみ

## 資料比較での活用

拡大縮小

外部出力

児童にとってなじみがない「憲法」の学習になるため、興味や関心を高め学習することができるように単元を設定した。

まずは、自分たちのクラスを過ごしやすい環境にするためにはどうしたら良いのか考え、「自分と結びつける」ことで意欲的に学習し続けられるようにした。

次に、自分たちが必要だと考えたクラスの憲法草案を教科書に掲載されている日本国憲法と比較させた。

その際に注目して欲しい図や写真、文章を「ズーム」機能で拡大しテレビに映し出した。必要のない情報は省かれるため、今何を見たらよいのか分かりやすくスムーズに学習課題に取り組むことができた。班ごとにどの憲法がなぜ必要なのか考え、自分たちの意見を他の班に説明することができた。



教科書をズームして交流する様子

## 社会 小学校第6学年 縄文のむらから古墳のくにへ

## 個別学習での活用

書き込み

動画再生

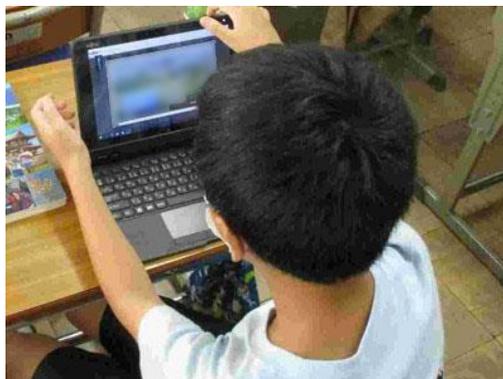
単元で学習した事を、単元の終わりに個人で振り返りながらノートにまとめる学習活動を行った。

その際、デジタル教科書を活用し、重要な箇所にアンダーラインを引いたり、デジタル教科書内の動画をそれぞれで視聴したりさせて、理解を深められるようにした。

また、デジタル教科書上の資料の画面をクリックすると、その資料が拡大されて表示される。

資料を拡大して表示できることで、教科書では見つけにくい細かいところまで気付くことができた。

細かいところに気付いた児童のタブレット画面を教員が大型モニター等に拡大して映すことで、クラス全体で共有することができた。



デジタル教科書を使って単元のまとめをしている様子

## 社会 小学校第6学年 大昔のくらしとくにの統一

## 資料まとめでの活用

ふりがな表示

外部ソフト連携

社会科では歴史新聞で自分の学習したことをまとめている。

その際に必要になるのが写真であるが、タブレット端末を活用してデジタル教科書の写真をスクリーンショットとトリミングで新聞記事に取り入れて活用している。

また、漢字を読むことが苦手な児童には、総ルビ機能を活用することで学習に取り組みやすくした。

地図帳では、将来自分で所持するスマートフォンといったデジタル端末内の地図アプリを活用できるように、個人端末にあるデジタル地図帳で場所を確認し、「GoogleMaps」を活用して建物の詳しい様子を調べている。

また、デジタル教科書・地図帳を活用することで子どもたちはためらうことなく「GoogleMaps」を活用することができた。



教科書の写真を使ったまとめ

## 社会 小学校第6学年 今に伝わる室町の文化と人々の暮らし

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

動画再生

資料閲覧

児童が実際に見る機会は少ない祇園祭の準備や祭の様子の動画を見て、身近に感じることができた。能や狂言も日本の古典芸能でありながら児童にとってなじみのないものである。実際の映像を見て、内容が認識できた。また、演者の様子なども詳しく説明されていて、指導者にとってもわかりやすい。さらに、絵図や地図などの資料を詳しく見る時に児童自身で見たいところを拡大して細部まで見るのでわかりやすい。



室町時代の文化を調べている児童

資料はクリックすると名前や解説が表れて、児童の理解を助けていた。目次からすぐに目的のページが開くのが良いとか、紙の教科書では開く時にページの間が曲がってしまっていて見えにくいですが、デジタル教科書はフラットなのでとても見やすく良いという感想をもつ児童もいた。

## 社会 小学校第6学年 今に伝わる室町の文化と人々の暮らし

## 個別学習での活用

拡大縮小

書き込み

外部出力

京都の建造物を調べると時代や場所、建造物の特徴が分かる。

室町時代の建物・室町以前の建物・室町以後の建物を比較し考えることで、それぞれの時代の建造物の特徴が見えてくる。

世界遺産コースと人権コースの2つを考えるようにした。

世界遺産は教科書を参考にできるが、人権コースはタブレットを使っているのですぐネットで



京都について調べている様子

調べ、探すことができる。またデジタル教科書の拡大、デジタル教科書の上にメモをしたり、行く場所に印を入れたり、回るルートを記入したりできる。選んだ場所の理由を書くことがオススメポイントと建造物の特徴や時代背景になってくる。まとめた後、友だちと交流し、テレビ画面に写し、自分の考えと友だちの考えを交流することもできた。

## 社会 小学校第6学年 戦国の世の統一・江戸の社会と文化・学問

## 資料比較での活用

拡大縮小

書き込み

動画再生

デジタル教科書を使い、長篠の戦いと江戸凶屏風を比較し、当時の生活や政治について考え、問いを見つけ、1人1人で学習課題を立てる。

デジタル教科書の写真や動画を効果的に使用し、当時の様子を知ることができる。

デジタル教科書を使用することにより、過去の振り返りがすぐでき、他の時代との比較が簡単にできる。

写真の比較や小さい所を見る時など、大変効果的である。児童の問いについての解答もデジタル教科書を使用することにより、簡単にできる。書き込みもできるので、まとめとしても使える。



絵図を拡大して気づいたことを出し合う様子

## 社会 小学校第6学年 戦国の世から天下統一へ

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

長篠の戦いの様子が描かれた絵を見ながら、なぜ織田軍が優位に戦えたのかを考える活動を行った。

電子黒板では後ろの席の児童は見にくい様子だったので、それぞれのタブレットでデジタル教科書を使用して活動を行った。手元で見られることで児童も集中して取り組んでいた。

また、必要に応じて絵を拡大して見ることもでき、人が持っているものや細部の描写なども詳しく確認することができた。

そうすることによって、織田軍と武田軍の戦い方の違いに多くの児童が気づいていた。

さらに、この単元で初めて登場した鉄砲についても、画像や動画を見ることによって、現代のものとの違いや仕組みについて容易に想像することができていた。



長篠の戦いの様子を拡大して確認する様子

## 社会 小学校第6学年 戦国の世の統一

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

資料閲覧

児童の中には戦国時代に興味があり知識のある子がいる反面、戦国武将や戦いなどについてほとんど知らない子も多い。

そこで「付箋機能」を使い、各自が気づいたことや疑問に感じたことなどを記入させてから全体で交流することで、学習のきっかけとした。

児童用端末を用いると「長篠合戦図屏風」を個々に拡大して見ることができるので、戦いの場に柵や堀があることやそれぞれの軍に家紋があることなど、紙媒体の教科書を利用するよりも気づきやすく理解を深めることができた。

加えて、画像の説明（指のマーク）を利用することで教科書の文中には記載されていない長篠の戦いの情報が補足できるため、児童にとってわかりやすかった。



気づいたことを付箋で記録する様子

## 社会（地図） 小学校第6学年 武士による政治の安定

## 資料読み取りでの活用

図形等操作

資料閲覧

江戸時代の政治の学習の導入である。

大名行列の図を見てどれぐらいの人で行列を組んだのか、どこからどこに向かっているのか、などの疑問点を挙げた。

その一つに「どのぐらいの期間歩いたのか」という疑問が挙げられた。

鳥取藩から江戸までを例として挙げ、デジタル地図帳の距離計測機能を使って、当時の飛脚の足でどのぐらい日数が必要かを調べた。

意外と早く到着することが分かった後に、参勤交代時の日数と比べた。

また、費用の総額のグラフも一緒に見せることで、なぜこのように時間と費用をかけて江戸に行く必要があったのか、という疑問を持たせることができた。



教科書の説明を地図で確認する様子

## 社会 小学校第6学年 江戸幕府を政治の安定

## 個別学習での活用

拡大縮小

朗読音声再生

社会の授業では、めあてを確認した後に毎時間「一人調べ」の時間を設け、その日の授業に関する内容を調べ、ノートにまとめる学習活動を行っている。

その際に、自分の知りたいことや興味をもったデジタル教科書の資料を拡大表示して見やすくし、課題に取り組む様子が見られる。

例えば、江戸図屏風を拡大することで教科書では気付かないような、江戸城とその周りの様子まで詳しく調べることができる。

また、音声読み上げ機能を活用して内容を把握し、まとめ学習をする児童もいる。

このように、デジタル教科書を使用することで児童の興味関心を高めることができる。



「一人調べ」を行う児童

## 社会 小学校第6学年 アジア・太平洋に広がる戦争

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

外部出力

当時の生活の様子や戦争の広がりの様子などを説明した資料を拡大して表示することで、矢印の方向が分かりやすかったり、地図上の位置を細かく把握したりすることができる。

社会科では、図表やグラフを元に考えることが多いが、拡大して写真の様子をより詳細に把握したり、特徴的な個所に書き込みを行ったりするなどして、より資料を活用できる点が利点である。

教師も指導者用デジタル教科書を画面に表示して授業を進めることで、今見るべき資料を確認しながら、手元で大きく詳細に写し出して見ることができるため、児童が安心感を持って集中して学習に取り組むことができる。

高学年の児童や ICT 端末の扱いにも慣れてきているため資料の表示もスムーズに行うことができた。



大型提示装置で画面を拡大して資料を確認

## 社会(地図) 小学校第6学年 日本とつながりの深い国々

## 地図読み取りでの活用

ドリル問題

児童にとって、世界の国々の名前に親しみはあるようだったが、日本とのつながりについてはイメージがまだない様子だった。

そのため、まず日本の都道府県や地形などの地理を振り返り、世界の国々とつなげる学習に取り組んだ。

デジタル教科書の地図帳を活用したり、インターネットを活用したりしながら学習した。

地図帳を活用する際には、索引やワード検索で目的の場所を探し、試行錯誤しながらよりよい方法を見つけていた。

また、課題後の時間にデジタル教科書の付録にある都道府県クイズを見て、自主的に日本の様子確かめる姿もあった。

はじめに日本の地理を振り返る時間をとったことで、「〇〇の国と最も近い県は？」など、世界の国と日本の地理的なつながりについて、学習の深まりがみられた。



都道府県を地図帳で確認する児童

## 地理 中学校第1学年 人々の生活と環境

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

書き込み

地理の学習では、写真や資料からさまざまな情報を得ることを大切にしている。

この単元では、世界各地の写真から、その地域で生活する人々の衣・食・住の特色を読み取った。

デジタル教科書では、写真を拡大し細部まで確認することができるので、紙の教科書では見過ごすようなことに気づく生徒がいた。

写真から読み取れることは本文に記載されているので、それを探す生徒もいるが、デジタル教科書では本文を見せずに写真だけを見せることが可能なので、生徒は正解にとらわれることなく自由に意見を出すことができた。地図帳にも簡単に切り替わるので、東京と自分が選んだ世界の都市の雨温図を比較し、気づいたことを画面に書き込ませた。読み取った特色を共有することで、理解をさらに深めることができた。



東京と世界の都市の雨温図を比較する様子

## 地理 中学校第1学年 第2章世界の諸地域第1節アジア州

## 資料読み取りでの活用

外部出力

授業では、写真やグラフのデータを用いることで、世界の出来事や地域の特徴、自然環境のイメージを広げられるような導入を行っている。

第2章の世界の諸地域の学習では、デジタル教科書を用いて、写真をスクリーンに映すことで全体で共有しながら授業の導入を行った。

また、アジア州では「急速な経済成長」という特色もあるので、上海やシンガポールの写真を見ることで意見の共有を行った。

さらに、第1節の「アジア州の自然環境」では、モンスーンの影響による降水量の違いを理解させるためトンレサップ湖の写真を提示してイメージをもてるようにした。

このように、紙面だけで確認するのではなく、スクリーンに示すことで全体で共有しながら授業を展開できるように配慮を行った。



大型テレビに映し出して授業をする様子

## 地理 中学校第2学年 日本の諸地域

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

書き込み

教科書に掲載されている資料の中には、小さな文字で多くの情報が表されている地図や複雑なグラフが多いが、タブレットの画面上で拡大することで読み取りやすくなる。

実際には、日本の都道府県の地図を画面一杯に拡大し、産業や文化を表す記号を表示して、県の特徴をつかむことに使用した。

デジタル教科書上に印をつけたりしても、簡単に消したり付け足したりできる点もメリットである。



小さな資料を拡大している様子

## 歴史 中学校第1学年 東アジアの中の倭(日本)

## 資料読み取りでの活用

書き込み

外部出力

縄文時代と弥生時代の暮らし方の変化について、教科書の挿絵を比べながら気づいたことを書き入れる。

個人で気づいたことをグループで交流し、書き込みを増やしていく。その後、グループごとに発表し、全体で気づいたことを共有する。

写真の生徒達は、注目したイラストにマークをつけたり、人物に吹き出しをつけてセリフを入れたりしている。物見やぐらのマークや「敵が攻めてきたよ」というセリフからは、弥生時代は採集中心の縄文時代と異なり、米作りによって豊かになった反面、争いが絶えなかったという事実気づいていることがわかる。

このように、生徒は資料から発見した事実と自らの知識を組み合わせることで、より深く時代の特色を理解することができる。



書き込みした内容を発表する生徒

## 公民 中学校第3学年 現代社会と私たち

## 意見交流での活用

外部出力

外部ソフト連携

社会科での探究課題の学習中にクラス内交流での発表を行う際に、学習者用デジタル教科書を Teams で共有し、発表する際の根拠資料や説明資料として提示する学習を行った。

これまで発表する際に教科書を提示する場合は、書画カメラで映して拡大表示するなどの方法が一般的であるが、デジタル教科書を Teams で画面共有することで、デジタル教科書に書き込んだ内容や付箋をつけた内容などを含めて、クラスで共有することができた。

また、共有された画像は生徒それぞれの ICT 端末で見ることができると、資料をしっかり確認しながら発表を聞くことができた。デジタル教科書と授業支援ツールを組み合わせることで活用の幅が広がるのではないかと感じている。



デジタル教科書の資料を Teams で画面共有

## 公民 中学校第3学年 基本的人権の尊重

## 資料提示での活用

書き込み

動画再生

導入で「デモ活動」の写真を個人端末に提示し、読み取れることを書き出した。

デモ活動に参加している人や周辺に佇む人など生徒の視点が様々で、デモ活動に対して第三者の視点で読み取るなど活発な意見交換ができた。

「知的財産権」について説明する部分では、収録されている動画コンテンツを活用し、「知的財産権」についてイメージしにくい生徒も短くまとめられた動画によって理解することができた。

「死刑制度について」考える部分では、表をもとに死刑制度の賛否について自らの考えをまとめた後、「死刑制度への国民の意識」のグラフを提示し、自分の考えとの差や自由権が保障する権利と国民の意識の差について深く考えることができた。



教科書の内容を動画で確認する様子

## 公民 中学校第3学年 地方自治と私たち

## 資料読み取りでの活用

拡大縮小

生徒にはまだ選挙で投票することが政治に自分たちの意思を反映していく行為であるという実感が無い。

そこで投票率や実際に投票した人の年代別割合のグラフからそれぞれの年代が実現させて欲しい政策と投票率との関係を考えさせることで政策の実行に関係があるかを推測させた。

デジタルの良さを生かし、画像を拡大して数値を読み取りやすくしたりすることで、自分たちが実現したい社会を構築するために自分たちの意思と責任ある行動が必要であることを深く考えさせるのに効果的だった。



画像を拡大して数値を読み取る様子

## 公民 中学校第3学年 現代の民主政治と社会

## シミュレーションでの活用

動画再生

図形等操作

選挙制度の「大選挙区制」・「小選挙区制」・「比例代表制」について、デジタル教科書に掲載されているコンテンツ教材「選挙シミュレーション」を用いて学習を行った。

解説動画教材も掲載されているため紙面だけでは理解に時間がかかるドント式の仕組みも視覚的に分かりやすく授業することができた。

従来であれば拡大コピーやプレゼンテーションソフトを用いて解説していた内容であったが、シミュレーションや動画が用意されていたことで準備時間や解説時間の効率化が図られた。



コンテンツ教材を用いた選挙シミュレーション